
アンビシス国 興亡記

八菱書房

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アンビシス国 興亡記

【Nコード】

N0544B

【作者名】

八菱書房

【あらすじ】

敗戦によりアンビシス国民は疲弊していた。そこに世界恐慌がおこり、追い詰められていく。

終わりの始まり（前書き）

完全オリジナルなわけではありません。歴史は繰り返すのです。

終わりの始まり

一章 終わりの始まり

2578年11月11日

僕の国は先の大戦時に革命が起こり終戦。

そして屈辱的な講和の後、多額の賠償金を払う義務をおった。
経済状態は最悪だった。

僕もひどい生活をしていた。

だれもが今の状況に不満を持っていた。

だれもがその日を生き延びることに必死だった。

そしてだれもが思った。

だれのせいで俺たちはこんな生活を強いられているのだ。

2589年10月24日

未曾有の大恐慌が訪れた。とある国の株式市場の大暴落を端に発した世界恐慌である。

僕の国の不況は全土を覆い、失業者で溢れた。

政府は有効な対策を打てず、国民は失望した。

そんな中、一つの希望が現れた。

国家労働者党である。

少々暴力的な政党ではあったが、世界恐慌の中で政府を攻撃する彼らの主張に国民は引き付けられた。

国家労働者党はこう説明した。
我々のが今、送っている生活は良面の謀略である。
良面は敵国との取引に応じた。

先の大戦は良面の起こした反乱によって負けたのだ。と。

僕はこの意見に同意する。

良面は裕福な奴が多かったし、女の子にも困らないような奴らさ。
おまけに良面の中には理由もなく醜面を差別する奴だっていたんだから。

次第に国家労働者党は支持者を増やした。

当然だ。

醜面こそがこの社会を支えているんだ。

一部の良面がおいしいところだけ取るうなんて許せない。

2592年7月 総選挙

ついに国家労働者党は230議席を獲得。

第一党となり政府となった。

僕の主張は間違っていなかったのだ。

翌年の2月27日

政府に反抗的な者と良面が国会議事堂を放火する事件が起こると素早く対応し、多数を逮捕した。

恐れていることが実現した。

やはり良面は悪だった。

たまたま国家労働者党の党員はいなかったものの、これは正義への挑戦だ。

国家労働者党はすべての階層への援助、失業の解消、さらに外国との強調を約束。

またこれらを達成するために全権委任法の制定を主張した。

この法律は賛成多数で可決。

また最大野党の社会党は違法な政党ということが判明し解散した。

次に国家労働者党は敗戦によって奪われた土地を取り返すべく動きだした。

本来ならば僕達の土地であったが、今は敵国の領土である。多くのアンビシス国民がいるのに！

そして国家労働者党は再武装を宣言した。

屈辱であった条約を破棄したのである。

僕らの強い国、アンビシスが復活したのだ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0544b/>

アンビシス国 興亡記

2010年10月12日20時49分発行